

# 地 域 再 生 計 画

## 1. 地域再生計画の名称

知多半島先端のまち 活力向上計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県、南知多町

## 3. 地域再生計画の区域

愛知県知多郡南知多町の区域の一部（師崎港、日間賀漁港及び大井漁港）

## 4. 地域再生計画の目標

### 4-1 地域の現況

南知多町は、愛知県知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島、日間賀島などの島々からなっている。北部は美浜町に接し、三方が海で東は三河湾、南西は伊勢湾に面し、面積 38.37km<sup>2</sup>の町である。三河湾国定公園と南知多県立自然公園に指定されており、名所、旧跡、文化財、祭りなどの観光資源が豊富にあるとともに、愛知県屈指の漁業基地としての町でもある。この観光資源と漁業基地を最大限に活用し、漁業資源を発信できる販売施設やレクリエーション基地の整備を進め、それらにより複合的に魅力を高めていく地域振興に取り組んでいる。

しかし、地域の現況としては少子高齢化の急速な進展やそれに伴う人口減少が進んでおり、農業、水産業などの既存産業は、担い手や後継者が不足するなど厳しい状況にある。そのような状況下、観光業については近年、地域資源を有効に活用した取組が行われており、南知多町全域での観光客は年間 3,335 千人（平成 26 年）であり、ここ数年はおおむね横ばい傾向を維持している。

この中で、最新の「住民意識調査報告書（H26.10）」によると、定住の理由に「地元で採れる豊かな農・海産物がある」としている人が 45.3%と多く、今後は「自然や歴史、農業・漁業を活かした観光の振興が最も重要である」との住民意識を念頭に「観光力の再生」、「移住・定住・交流促進」、「しごとの創生」の視点に立って、総合的かつ一体的な取組を始めることで、南知多町イノベーションを成し遂げる方針である。

本計画の対象となる師崎、日間賀島、大井地区は、南知多町の最南端部（崎っぼエリア）に位置し、基幹産業である漁業を中心とした産業を軸に、その漁業資源の販売戦略を活かした観光産業との組み合わせにより、各漁港で水揚げされる地魚を店頭のいけすで扱い、新鮮な魚を大井の味噌で料理する「崎っぼ料理」を目玉にするなど、地域雇用を生み出し、地域の発展に寄与している。その漁業活動の中心となる師崎港、日間賀漁港、大井漁港は「崎っぼエリア」において、産業の最も重要な拠点施設であり重点整備

が必要となっている。

師崎港は、知多半島の海上交通の要衝であり、篠島や日間賀島、伊良湖港への海の玄関口になっている。南知多町が管理する観光センターは、島民や観光客など合わせて年間 40 万人超が利用し、愛知県が管理するフェリー岸壁は、昭和 40 年代に岸壁を整備して以来、多くの人や車両の発着を担っており、平成 17 年 3 月には約 600 台収容の立体駐車場等も整備され、町内外からの来訪者を迎える体制が整いつつある。また、日間賀漁港の浮棧橋を利用し水揚げされたシラス、のりなどを島内の加工場で加工処理し、カーフェリーでの運搬により市場出荷するなど、重要な販路拠点となっている。また、大災害時の緊急物資などの緊急輸送航路として島民の安全安心な生活環境確保のため、大変重要な災害対策拠点となっている。

日間賀漁港は、昭和 30 年度の第 2 次計画から整備に着手し、昭和 48 年度の第 5 次計画から再整備を行い第 9 次計画で大規模整備を完了した。現在は、フェリー岸壁や主要物揚岸壁の耐震化や老朽化した施設の補修事業を中心に機能維持を図っている。日間賀島地区はタコ、フグ、島のりが三大名物で、たこ祭りが開催されるなど、観光事業にも力を入れている。この他、しらす、大あさり、白ミル、ミル貝などの漁獲が豊富で、島内の旅館・民宿では水揚げされた新鮮な魚介類を楽しむことができ、集客力アップにつながっている。

大井漁港は、浅海養殖業の発展とともに小型漁船が増加したため、昭和 41 年度の第 3 次計画から整備に着手し、第 7 次計画で大規模整備を完了した。現在は、主要物揚岸壁の耐震化や老朽化した施設の補修事業を中心に機能維持を図っている。近年、施設維持管理の効率化を図るため、師崎漁港との施設的統合を推進しており、将来はこれまでのような単なる水揚げ場所としての繋がりを越えた広域漁港機能を有する漁港群として統合構想を念頭において施設整備を行う予定である。また、大井地区はシャコが名物で、シャコ祭も開催しており、4 月から 12 月にかけて月 2 回程度「大井とれとれ漁師市」を開くなど、観光事業とのタイアップにも力を入れ、師崎漁港で開催されている「師崎朝市」と連携して、新鮮な海産物を提供することで、交流拠点となっている師崎港を中心とした観光客の立ち寄りルートとして確立しつつある。

#### 4-2 地域の課題

師崎港においては係留施設（岸壁）の老朽化が進行しており、安全確保のために点検は行っているものの、コンクリートの破損が見られ、陥没等の事故がいつ起きてもおかしくない状況である。また、築造年次が古く耐震性能を有していないため、地震発生後には、地域住民の日常生活が寸断され、民間観光事業者が定期航路の維持をすることも大変困難となる。これらを解決するために、安全安心な定期航路を持続的に確保できる拠点整備が必要である。また、交流拠点である観光センターがその集客効果を乗船客以外に十分に発揮できていない状況であるため、隣接する漁港で水揚げされる新鮮な漁獲

物を提供したり、近隣の飲食店情報を提供したりすることにより、にぎわいを創出するエリアとしての整備が必要である。

一方、日間賀漁港及び大井漁港では漁業従業者の高齢化が進んでいることや係留施設が未整備であることから、漁獲物の陸揚げ作業や出漁準備での漁具運搬など、干満差の大きい水際での作業が漁業従事者にとって大きな負担となっている。このことが、さらなる漁業労働者の減少、ひいては人口減少の原因となっていることから、漁業従事者の労働環境を改善し、魅力ある漁業を維持していくことが必要である。

さらに、大規模災害時の篠島や日間賀島への緊急物資輸送は、師崎港が対策拠点となっており、先行して対策を行っている篠島漁港や日間賀漁港の岸壁耐震化に引き続き、師崎港の岸壁も耐震化し、離島と本土の交通ネットワークを確保する必要がある。

#### 4-3 計画の目標

このような状況を解消するため、師崎港において、係留施設（岸壁）の老朽化・耐震化対策により安全安心な海上交通の拠点とすることや、交流拠点となる観光センターの利用者のニーズを踏まえた建替えを行うことで、地域住民の日常生活の確保とにぎわいの創出による観光の活性化を図る。また、日間賀漁港及び大井漁港の係留施設（浮棧橋）を整備することにより労働環境が改善され、漁業従事者の減少抑止を図り持続可能な水産・漁業活動を実現する。そして、港湾施設と漁港施設の一体整備により、観光産業と水産業の活性化による相乗効果を発揮させ、崎っぽエリアから南知多町の活力向上を図る。

また、師崎港の耐震岸壁整備及び関連する離島の耐震岸壁整備により、南知多町地域防災計画における目標である「師崎港（県管理）の耐震化」、「篠島漁港（県管理）及び日間賀漁港の岸壁耐震化」の達成を目指す。これにより、南知多町の基幹産業である水産業及びそれを核とした観光事業を始め広範囲に渡る経済活動におよぼす著しい影響の軽減を図る。

（目標1）師崎・篠島・日間賀島における来訪者数の増加

1,631千人（平成27年度） → 1,809千人（平成33年度）

（目標2）漁業就業者数の減少改善

日間賀漁港 433人（平成26年度） → 403人（平成33年度）

大井漁港 114人（平成26年度） → 106人（平成33年度）

（目標3）労働環境の改善（漁港利用者への利用状況アンケートによる）

（浮棧橋を利用出来、体への負担を感じない人の割合）

日間賀漁港 39%（平成28年度） → 60%（平成33年度）

大井漁港 26%（平成28年度） → 50%（平成33年度）

(目標4) 大規模災害時の離島と本土の交通ネットワークの確保  
0 航路(平成28年度) → 2 航路(平成33年度)

## 5. 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

海上交通の持続的確保と水産業の活性化に寄与する整備をする。

師崎港では、岸壁の耐震対策を行い、別に水産庁の事業で行っている篠島漁港、日間賀漁港の海上交通の発着岸壁の耐震化と合わせて行うことで、安全安心な海上交通の拠点を整備する。

日間賀漁港及び大井漁港では、係留施設(浮棧橋)の整備により、干満差の大きい漁港内での重労働が緩和され、新規漁業就労者の増加や高齢の漁業者が就労を続けることができることから、持続可能な水産・漁業活動の実現を図ることができる。

関連事業として、漁業体験、稚魚やアワビ等の種苗の放流事業を行うことで、水産業の活性化を進める。

港湾施設と漁港施設の一体的整備及び関連した日間賀漁業体験、たこ祭り等により、水産・漁業活動が活性化した日間賀漁港にタコやフグなどを求めて渡航する観光客に対し、師崎港が単なる発着の場のみならず、関連事業にて整備する観光センターを核として大井漁港で水揚げされた魚介類を含めた崎っぽエリアの魅力を発信する。これにより、人の交流が盛んになり来訪者増加を図ることができる。

また、大規模災害の被災後においても、耐震対策を実施した岸壁が海上交通の拠点として機能を維持できることにより、支援物資や人の移動などの継続した輸送ネットワークを確保するとともに、水産・漁業活動を停滞させることなく、地域経済を下支えすることができる。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生港整備推進交付金【A3010】

[施設の種類の事業主体]

- |       |            |      |
|-------|------------|------|
| ・港湾施設 | (地方港湾師崎港)  | 愛知県  |
| ・漁港施設 | (第2種日間賀漁港) | 南知多町 |
|       | (第2種大井漁港)  | 南知多町 |

[事業期間]

- ・港湾施設 平成29年度～平成33年度
- ・漁港施設 平成31年度～平成33年度

[整備量]

- ・港湾施設 係留施設
- ・漁港施設 係留施設

[事業費]

総事業費 640,000 千円  
 港湾施設 480,000 千円 (うち交付金 160,000 千円)  
 漁港施設 160,000 千円 (うち交付金 88,000 千円)

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

重要業績評価指標		単位	基準年	H29	H30	H31	H32	H33
指標 1	浮棧橋待ち時間の短縮	—	—	—	—	—	—	—
	大井漁港 浮棧橋待ち時間 1時間以上の割合	%	55	55	55	55	27	27
	日間賀漁港 浮棧橋待ち時間 1時間以上の割合	%	46	46	46	46	46	23
	師崎港 老朽化対策進捗率	%	0	0	0	33	66	100

毎年度終了後に愛知県及び南知多町の職員が利用状況等の調査を行い、速やかに状況を把握する。

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

港湾及び漁港を一体的に整備することにより、個別に整備するのに比べて、地域の課題に対する効率的な効果発現が可能となり、離島を含めた地域再生の中核のとなる施設整備を迅速に行うことができるため、観光産業と水産業の活性化に資する先導的なものである。

### 5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「知多半島先端のまち 活力向上計画」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

#### (1) 観光センターの整備

内容 港利用者が利用する重要な建物だが、築40年以上を経過し老朽化が著しいため、より集客効果が発揮されるよう利用者や地元の意見を踏まえて建替えを行う。

実施主体 南知多町

実施期間 平成30年4月～平成32年3月

#### (2) 沿岸水産資源増殖推進事業

内容 南知多町の主幹産業である漁業の衰勢に歯止めをかけるため、町の委託事業として、マダイ、ヒラメ、メバル、カサゴ等の種苗放流を行い、水産資源の保護、漁家経営の安定を図っている。

事業主体 南知多町（委託先 南知多水産振興会）

実施期間 平成12年～

#### (3) 栽培漁業振興対策事業補助金

年々減少する資源の維持増大を図るため、アワビ等の種苗を放流し資源確保に努め、沿岸漁業者の所得向上を図っている。

事業主体 南知多町

実施期間 平成4年～

#### (4) 海っこバス（コミュニティバス）による観光PR

内容 SKE48とのタイアップにより師崎港（羽豆岬）公園内の歌碑やバス内のアナウンスなど集客力アップの施策を実施中である。

実施主体 南知多町、名鉄海上観光船株式会社

実施期間 平成25年7月～

#### (5) 離島の耐震岸壁整備

内容 篠島漁港と日間賀漁港の岸壁耐震化を進め、離島航路の防災対策を図り安心して利用できる環境を整備する。

実施主体 愛知県（篠島漁港）、南知多町（日間賀漁港）

実施期間 平成26年4月～平成32年3月

## 6. 計画期間

平成29年度～平成33年度

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に愛知県及び南知多町が必要な観光客数の調査等を行い、速やかに状況を把握する。

定量的な目標に関わる基礎データは、7-2に示す収集方法により集計を行うことにより評価を行う。

#### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成 28 年度 (基準年度)	平成 31 年度 (中間年度)	平成 33 年度 (最終目標)
目標 1 師崎・篠島・日間賀島における 来訪者数の増加	(平成 27 年度) 1,631 千人	1,720 千人	1,809 千人
目標 2 漁業就業者数の減少改善	(平成 26 年度) 日間賀漁港 433 人 大井漁港 114 人	日間賀漁港 418 人 大井漁港 110 人	日間賀漁港 403 人 大井漁港 106 人
目標 3 労働環境の改善 (浮棧橋を利用出来、体への負 担を感じない人の割合)	日間賀漁港 39% 大井漁港 26%	日間賀漁港 39% 大井漁港 26%	日間賀漁港 60% 大井漁港 50%
目標 4 大規模災害時の離島と本土の 交通ネットワークの確保	0 航路	0 航路	2 航路

(指標とする数値の収集方法)

項目	収集方法
来訪者数の増加	南知多町データブック、南知多町資料
漁業就業者数	港勢調査、南知多町資料
労働環境の改善	漁業従事者アンケート
大規模災害時の離島と本 土の交通ネットワークの 確保	愛知県資料、南知多町資料

・ 目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表手法

4に示す地域再生計画の目標については、事後評価の内容を、速やかにインターネット（愛知県、南知多町のホームページ）の利用により公表する。